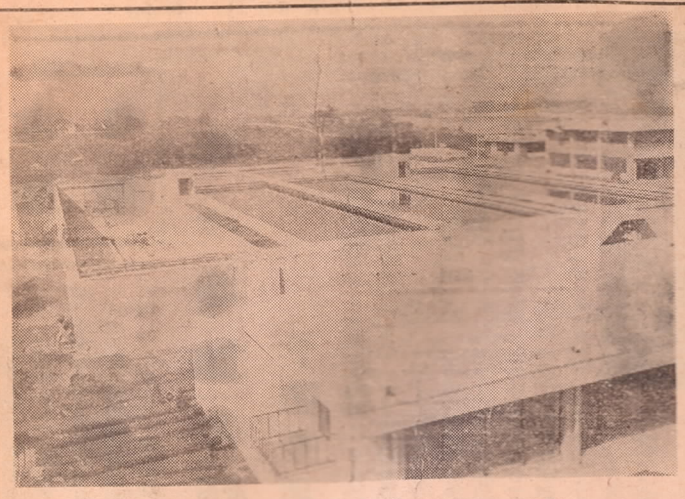
大分市報

発行所　大分市役所
編集兼発行人
大分市役所代表者
辛島　公一郎

2年目を迎えた第3次上水道拡張工事

光吉浄水場増築工事近く完成
荏隈（えのくま）に新施設も建設

昭和四十年に昭和五十五年の大分市の人口増加を見越して計画した第三次上水道拡張工事が昨年度から始まり、今年で二年目。昨年度は、この計画の初年度として、南大分の荏隈（えのくま）に新しい浄水施設の建設用地を買収したほか、光吉浄水場の増築工事を今年度まで二年継続事業で進めています。そこで水道局に第三次拡張計画のあらましを聞いてみました。



写真―増築中の光吉浄水場（左端が工事中の沈澱池）

第三次拡張計画の基本は昭和五十五年の人口を四十二万五千人、このうち給水人口を三十九万人と見て、事業費三十一億円で昭和四十一年度から八年間で、これに見あう十一万トンの浄水施設を建設しようというものです。

現在市内の上水施設は大分地区に二つ、鶴崎、坂ノ市にそれぞれ一つで、一日の給水能力は六万六千トン余り、およそ十七万四千人に給水しています。しかし、新産業都市として発展する大分市の人口増加には追いつけず、市水道局では昭和四十年に十五年先きを見越した第三次長期上水道拡張計画をたて、昨年度から事業を進めてきました。

この計画が完成すれば、市内のほとんどの地区で、きれいな水を使うことができるようになるということです。

第一年目の事業

初年度（四十一年度）の事業として、市水道局では荏隈に新しい浄水施設を建設する用地を買収したほか、第二次上水道拡張計画で完成した光吉浄水場の拡張工事をすすめています。

光吉浄水場は第二次拡張計画により、昭和三十六年から工事にかかり、昨年完成し、現在、沈澱池三つ、急速濾過池六つ、一日三万二千トンの水を給水していますが第三次計画により、一億四千万円の工事費で、今年度までの二年継続事業により、さらに沈澱池一つ急速濾過池二つを増設して給水能力を一万八千トンふやして五万トンにします。

今後の事業計画

光吉浄水場の増築工事が一応五月末に完成することになっていますので、引き続いて、南大分の荏隈に一日五万八千トンの水を給水する浄水施設の建設工事にかかります。今年度は事業費四億円で、大分川の表流水を取り入れる取水施設の工事を建設省に委託するほか、取り入れた水を浄水施設に運ぶ導水関係施設と浄水施設の一部をつくる方針で、昭和四十四年までには完成させる計画です。

さらに昭和四十八年までには、大野川の流域に給水能力一日六万トンの大きな浄水施設をつくるほか、全地区に配水管をのばし、水圧の低いところには大きな配水管を布設するなど、市内のほとんどの地区でいつでもきれいな水が使えるように事業をすすめる計画です。

事業費はどうなる？

第三次計画に必要な事業費はざっと二千一億円、八年間で事業を完了させることになっていますので、一年平均約四億円の事業費がいるわけで、一年間の水道料金収入およそ二億二千万円を越える大へんな事業だといえます。従って水道料金収入だけでは事業を進めることはとうていできません。かといって市民の納める税金を水道事業にまわすことも法律で禁止されていることから、いきおい、事業費のほとんどを借入金でまかなわなければならないのが現状です。

普通、この借入金を起債（きさい）といっており、第三次計画の事業費二千一億円のうち二千九億円近くがこの起債で、水道料金などの収入から事業費にまわすいわゆる自己資金はわずかに二億二千万円余りにしかすぎません。しかもこの起債も一定の枠があって、必要な事業費を計画通り全額借りることがむずかしくなっています。

市水道局では「上水道施設の拡充整備に必要な事業費はほとんど起債にたよらなければならない。第三次計画が計画どおりに進むかどうかは政府が必要な事業費を認めてくれるかどうかにかかっている。これからも起債の獲得に努力して、是非とも第三次拡張事業を計画どおりに完成させたい」と話しています。

写真―裏川にかかった水管橋（下郡から岩田町に通じる 500ミリの配水管）

市長・市議（補欠）選4月28日
お忘れなく投票を

統一地方選挙も四月十五日の県知事選挙と県議会議員選挙がすめば、四月二十八日の市長選挙と市議会議員補欠選挙を残すだけ、その投票日もまちかになりました。

四年間の市政を託すたいせつな市長選挙と同時に、市議会議員補欠選挙が大分地区と鶴崎地区についてあわせて行なわれます。

ひとりの棄権もなく、よく考え信頼できる候補者にあなたの貴重な一票を投じましょう。

なお投票日とその前日には市選挙管理委員会及び市明るく正しい選挙推進協議会では飛行機による呼びかけを行なうことにしています。さらに投票当日はサイレンを午前七時と午後四時に鳴らします。また有線放送施設のある支所（地区）では有線による投票日の周知をはかるようにしています。

◎投票時間

午前七時から午後六時までですただし、百木、伊与床の両投票所は午後四時までとなっていますのでご注意ください。

◎不在者投票

二十八日の投票日に公用、私用にかかわらず、やむをえない事情で、当日投票できない方のため告示の日から投票日の前日まで（四月十八日から四月二十七日まで）午前八時三十分から午後五時まで市選管事務局または各支所で不在者投票ができます。また指定病院に入院中の方は病院長に申し出て不在者投票をしてください。

◎投票日には入場券をお忘れなく

入場券は四月十五日（知事・県議会議員選挙）に使用した入場券を使用します。もし紛失や破損された方は投票当日、投票所で再発行をしますので、投票所の受付に申し出てください。

ご不明の点は市選挙管理委員会事務局にお問い合わせください。（電話④六一一一）

学童の交通事故防止に
こどもを守る会が発足

市内の学童や園児を交通事故から守ろうと、四月五日文化会館に市内の小中学校、幼稚園、PTA警察、大分市、大分市教育委員会の関係者約二十名が集まり、学童園児の交通事故安全対策協議会を結成しました。

最近学童園児の交通事故が年々増加しています。自動車の増加、運転者の法規違反、こどもの交通道徳に対する意識の低さなどいろいろな原因が考えられますが、同協議会では今後、次の点を重点に運動をすすめ、県や市その他関係機関に働きかけていくことになりました。

①こどもたちが通学する道路の交通安全施設を整備する。

②小中学校、幼稚園、保育所で、地域の道路や交通事情にあった交通安全教育をすすめる。

③こどもの安全な通学路や遊び場を確保する。

④こどもの交通事故防止のため広く市民の協力を求める。

なお協議会の役員は次のとおり。

・会長　池見喬（大分市教育長）
・副会長　都留常慶（市教委秘書課長）、尾関隆男（市企画課長）

こどもを交通事故から守る協議会の初会合

豊山寮火災罹災者救援に感謝します

豊山寮火災による罹災者の救援につきましてはいちはやく大分地区婦人会、金池校区町内会、婦人会をはじめ市民各界各層のみなさんからあたたかい義援金と多数の物資をおよせいただき誠にありがとうございました。ご芳志は直ちに罹災者に配分いたしました。罹災者はこのあたたかいご援助に心から感謝いたし皆様の善意に応えるべく各自の再建に努力いたすとのことでありますので報告をかね、紙上をもってお礼申し上げます。

豊山寮火災救援対策本部長
市民生部長　佐藤為一

寄付のお礼

◇香典返し寄付

田の浦六組　姫野松太郎殿
金池南一丁目九の26相部　県殿
中島西二丁目一―五西垣　速水殿
大道四丁目二丁五　阿部　武一殿
中萩原一組　利光キミエ殿
田室町　三浦　兼善殿
大字小池原　三宮　隆殿
八幡大久保一〇三西平野ヒツ子殿
豊町一丁目五―25　松山　ヨシ殿
古国府　利根　恒夫殿
勢家町三丁目一―15是永　円平殿
八万田　甲斐　雅子殿
田原　佐藤　保殿
大手町三丁目五―17竹谷　寛治殿
中島東二丁目三―30大平　康生殿
曲　四組　庄　勝人殿
府内町一丁目八―33堤　精爾殿
大字竹下七二二　大塚　惠殿
上野町一三―14　佐藤キヨ子殿
中津留八　三重野微雄殿
古国府　髙屋　要七殿
大字横尾　佐藤　義人殿
大字鶴崎　房前　正一殿
家島　阿部正七男殿
三佐　宇治田重三殿
大字横尾　江藤　賢一殿
大字鶴崎　林　義彦殿
乙津　山村庄三郎殿
上野丘一丁目　幸　タカエ殿
碩田町三丁目　阿南　正殿
田中15組　若宮　則春殿
西原　池永宇太郎殿
横田　西郷　博殿

給水工事は指定店へ
市公認工事業者を追加

大分市の上水道に関する工事（新設、改良、撤去など）は市公認の業者以外のものは施工することができません。工事の必要があるときは市公認の水道工事店という看板をかかげた業者にご相談ください。なお新たに四十二年度から次の業者が市公認水道工事店として追加されました。違反工事を行なわないようご協力ください。

○大分地区　△大分管工事サービスセンター（千代町四丁目二番）②九三八七、△大分合同電設（金池南一丁目十六番）②三三〇四　△鬼塚産業（大手町一丁目二番）②五二一八、△加藤建設（千代町二丁目二番）②一八一五、△三明工業（末広町二丁目九番）②一九五三、△千代商会（牧九組）②八六六〇、△豊和水道（南春日町七組）②七二二五、△豊菱冷機工業所（金池南一丁目一番）②二四六五。

○植田地区　△長岡水道（大柳）植田局五二〇乙次。

○坂ノ市地区　△広和水道（久原）坂ノ市局二三五次。

みんなで参加を
料理・孔版・短歌教室開く

◇料理教室◇　中央公民館では料理実習室を改造、設備を近代化し面目を一新し、昭和42年度の料理教室を開きます。

期間　5月～来年3月まで（毎月一回午前9時半～午後1時）

定員　一組35名で3組編成

講師　大分保健所、甲斐節子、大分市教委、足立紀子の3栄養士

申込　4月24日午前8時半から5月26日午後5時まで、中央公民館で受付けます。

◇孔版教室◇　第7回孔版（謄写版）教室を開きます。受講希望者は中央公民館（電②4938）にお申し込みください。

定員60名で5月7日から毎週日曜日午前10時～12時まで10回で終了、受講料は実費のみです。

◇短歌教室◇　鶴崎公民館では初心者を対象とした短歌教室を開きます。希望者は4月30日までに鶴崎公民館（鶴崎2671）へお申し込みください。

人員　40名

講師　短歌誌の主宰者、新聞短歌の選者

会費　通信費程度、第一回の教室は4月22日午後1時半から開きます。そのとき作歌経験者は必ず一首、また初心者は持ち合わせがあれば自分の作品を申込みと同時にお持ちください。

清潔な町づくりを
4月17日～23日環境衛生週間

四月十七日～二十三日までの一週間、全国一斉に環境衛生週間が始まります。特に四月二十二日は清掃法が制定された日でもあり、この日を「清掃の日」と定めて環境の整理をすすめています。

市民のみなさんもこの趣旨にご賛同の上家族や町内の清掃美化にご協力ください。運動目標の内容は次のとおり。

清掃の徹底　春の大掃除を行ない家の内外の清掃をするとともに、地域社会全体の清掃、公園、道路など公共施設の清掃美化につとめる。

公衆道徳の高揚　紙くず、果物の皮などは必ず「ごみ容器」に、タバコの吸いがらは吸いがら入れに、また河川やその他の公共の水域などに「ごみ」を捨てない。

害虫やねずみの駆除　「かえ」や「はえ」が活動を始める季節です。害虫が発生する場所「ごみだめ」便所、下水などの水たまりは清掃後必ず消毒し幼虫を撲滅する。特にはえの発生を防ぐために残飯類はよく水をきり、ビニール袋に入れて口をしばりごみ箱にしまつする。

青年学級の生徒を募集

市教育委員会では、勤労青少年を対象に一般教養や実生活に必要な職業技術の学習、仲間づくりを目ざして二つの青年学級を開きます。

◎中央青年学級
中島小学校で一般教養、商業などについて学習、開級式は四月十七日。

◎植田青年学級
植田公民館で一般教養、農業、商業、家政などを学習。四月二十三日午前十時から開級式。

参加希望者は市教育委員会社会教育課または植田公民館に申込んでください。

◎日本最大の総合美術展「日展」開催中（5月7日まで）会場は大分文化会館と県体育館　料金（当日売り）一般　百五十円、高大生　百円、小中生　五十円

日本脳炎

年々増加の傾向

予防接種五月に実施

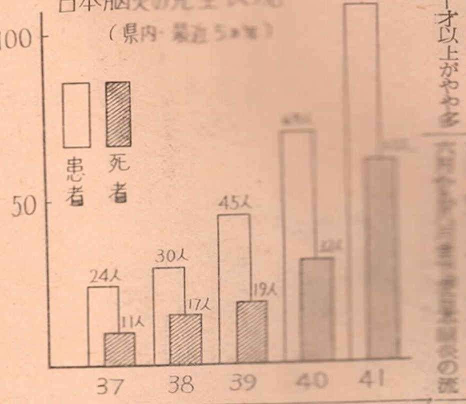
年々増加の傾向にある日本脳炎にそなえて、市衛生課では、ことしは昨年より一カ月早く五月に予防接種を実施するとともに、日本脳炎予防の根本対策として、ばいきんを媒介する「カ」のせん滅作戦の実施を各家庭に呼びかけ、日本脳炎追放にのり出しています。写真は昨年六月の予防接種

昨年、大分県内における日本脳炎の発生件数は戦後二番目にあたる百七名、うち死者六十一名。

最近五カ年間の発生状況は別表のとおりで、年々増加の傾向をみせ、ことしも多発することが予想されています。

また、年令別発生件数では（かっこ内は死者数）〇～九才が六人（一人）、十～十九才が四人（一人）、二十～二十九才が十人（四人）、三十～三十九才が九人（三人）、四十～四十九才が五人（四人）、五十～五十九才が十三人（七人）、六十～六十九才が三十人（十八人）、七十才以上が三十人（二十二人）。六十才以上がやや多く、あとは年令に関係なく発生しており、とくに目立つのは非常に死亡率が高いことです。

市内における過去三カ年の発生件数は、三十九年が十二人（七月下旬から八月下旬に発生）、四十年が十一人（七月上旬から八月下旬に発生）、四十一年が十五人（六月下旬から八月下旬に発生）で、六月から九月まで日本脳炎の流行期といえます。



そこで、市衛生課では、ことしは昨年より一カ月早く予防接種を実施することにしています。これは予防接種後免疫ができるのに約二週間かかるため、日本脳炎流行期六、七、八月にまにあうように早めたものです。

予防接種は、別項日程のとおり五月八日から市内七十会場で実施し、六月六日から追加の予防接種も実施します。

予防接種の効果は、絶対とはいえないまでも、日本脳炎にかかる率がごくわずかであることから、効果はじゅうぶんにあるとされています。

市衛生課ではことしは八万人分のワクチンを用意しており（昨年は約六万人が接種）「多くの人が予防接種を受けてほしい」と呼びかけています。

一方、市衛生課では、日本脳炎の根本的な対策として、日本脳炎の病原菌をまき散らす「カ」のせん滅作戦を各家庭で実施するよう呼びかけています。

このせん滅作戦は、四月に排水路や暗きょなどを重点的に越冬「カ」を駆除する、ひきつづき梅雨期に向っては排水路、水たまりなど「カ」の発生源の除去につとめる、子豚などの家畜が日本脳炎ウイルスを媒介するといわれているので飼育場所周辺の「カ」の駆除をすすめる、などです。

「カ」のせん滅作戦実施にあたっては、とくにつぎのような「カ」の発生、生息、習性をとらえて実施するよう市衛生課では注意しています。①「カ」が産卵できないよう水流れをよくする。②「カ」が昼間ひそむ場所、とくに草むらなどを刈りとる。

みんなもれなく

予防接種日程きまる

◎該当者は昭和四十一年十月三十一日までに生れた方。料金は初回免疫（二回接種する）三百二十円、追加免疫（一回接種する）百六十円、ただし生活保護家庭の方は無料です。また、有熱患者などからだに疾患のある方は医師とご相談ください。

○五月八日　金池、別保、川添の各小と稙田中○五月九日　東大分、日岡、鶴崎、判田、竹中、坂ノ市小○五月十日　小佐井、賀来、高田、明治の各小と東明高○五月十一日　松岡、大道、吉野、河原内、上戸次小と上野丘中　○五月十二日　神崎、住吉、大在、東稙田、稙田の各小と城東中○五月二十二日　滝尾、荷揚、長浜、八幡の各小○五月二十三日　津留、桃園の各小と大東、吉野、坂ノ市の各中と城南団地○五月二十四日　実業大分、上野丘の各高校と王子中、大在中と丹生小、ろう学校、盲学校○五月二十五日　大分工業高と賀来、判田中、中島、春日の各小○五月二十六日大分商業高と竹中、下戸次、戸次、三佐の各小と南大分幼稚園、東院農協。

時間は各会場とも午後2時～3時半まで。この注射は（初回は）一回、一回と引きつづき行なわれますが、一回目の日時は各会場でおたずねください。

住居表示で自治大臣から表彰状

大分市が受彰

さる三月二十日、大分市に対し自治大臣から新住居表示の実施成績が優秀ということで表彰状を、郵政大臣から実施による郵政業務が非常に円滑に行なわれるようになったと感謝状が贈られました。

これは本市が全国にさきがけて昭和三十七年度から四回にわたって大分地区の中心部で街区方式による新しい住居表示を実施し、市民みなさんのご協力で春日、中島、大道校区などの一部を除いて市の中心部をほぼ完全に実施したことによるもの。

今年こそ早めに準備を

二年目をむかえた 米一俵増収運動

米1俵増収運動の目標数（10アール当り）

地区名	昭和40年	昭和43年
大分	420キロ	550キロ
稙田	461	560
鶴崎	421	550
大南	383	500
大在	454	550
坂ノ市	394	520
平均	420	540

大分市農業振興運動協議会は昭和四十一年から三カ年計画で米一俵増収運動を展開しています。

昨年は運動を始めたばかりで種子更新や主旨の徹底がおくれ、加えて出穂後に台風の災害などがあり十分な成果をあげ得たとはいえません。

そこでことしは早めに計画し、さる一月に大分市米一俵増収運動推進本部を設け本部長が市長、各地区農協ごとに地区推進協議会をおき、それぞれ農協長が会長となって各関係機関が緊密な連絡のもとに運動をすすめることになりました。この組織のもとに二月中旬から各部落ごとに米一俵増収運動の説明会を開いて全農家のみなさんにことしこそ十分な準備をした上でぜひ実行していただき米一俵増収を成功させるようお願いしています。

なお、今回の市報から毎号時期的に重要なことを掲載しますので参考にしてください。

(1)品種　増収をはかるにはまず倒伏に強い短稈穂数型品種に切りかえることが大切で、市では次の品種をすすめています。

▽早生種、クジュウ、10月7日

▽中（晩）生種、ホーヨク10月24日、シラヌイ10月22日、トヨサト、10月18日（月日は成熟期）

(2)苗代

▽種子消毒＝サツセン三百倍液に24時間、またはルベロン千倍液に12時間浸して必ず消毒する。

▽苗代面積＝本田一〇アールあたり、まき床面積四〇平方メートル（十二坪）以上確保してください。

▽播種量＝三・三平方メートル（一坪）あたり三百グラム（三合）のうす播き、均等に播くこと

▽苗代肥料＝三・三平方メートルあたり苗代化成肥料は三五〇～四〇〇グラムを適量に用いる。

▽播種適期＝地域によって違いますが早生種では五月上旬、中（晩）生種では五月中旬を中心に種を播いてください。

一戸一人は社員に

5月1日から赤十字運動始まる

来る五月一日から一カ月間、全国的に赤十字推進運動がすすめられます。

この運動に対し毎年みなさんから格別のご協力と多額な社費の納入をいただき、国内外の被災者に広く感謝され、日本赤十字社の社業も年々発展しています。

ことしも、運動期間中、「各戸から一人は赤十字社員に加入する運動」をすすめ、社員の方々には社費のお願いにあがります。ぜひご協力ください。

日本赤十字社は、世界百八カ国と手をつないで、博愛、人道、平和のためにいろいろな事業をつづけています。災害時の援助や血液銀行の整備、低開発国の医療援助に北鮮帰還業務など国内外で活躍しています。

この事業はみなさんからの尊い社費によってまかなわれており、社員みなさんひとりひとりが赤十字事業をささえる力になっています。

今月のテレビ放送

（市民の広場）

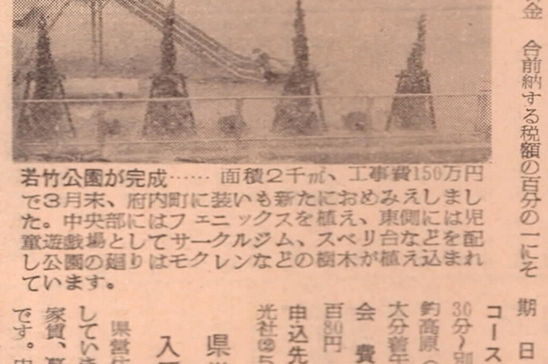
放送日　四月三十日（日）午前七時五十分から

放送局　OBS五チャンネル

内容　4月のおもな行事

大分市の人口（3月1日現在）

		前月比
人口	232,497	（＋1072）
男	110,846	（＋326）
女	121,651	（＋746）
世帯数	54,814	（＋322）



若竹公園が完成……面積2千㎡、工事費150万円で3月末、府内町に装いも新たにおめみえしました。中央部にはフェニックスを植え、東側には児童遊戯場としてサークルジム、スベリ台などを配し公園の廻りはモクレンなどの樹木が植え込まれています。

今月の納税

◎固定資産税第一期分

◎軽自動車税

◎国民健康保険税第一期分

4月30日が日曜日です。翌日の5月1日までにお忘れなくお納めてください。

生ワクチンをのみましょう

ポリオ生ワクチンの投与をつぎの日程で行ないます。該当者は41年7月1日～41年12月31日までに出生した乳児と41年2月1日～41年6月30日までに出生し1回だけ服用した幼児。料金は1人○円（生活保護者の前年度住民税が非課税、非課税の方、生活保護を受けている方は無料）

なお、有熱患者などからだに疾患のある乳幼児は医師とご相談ください。また種痘接種後2週間を経過していない乳幼児は受けられません。

○4月25日　東大分、金池、津留、滝尾、春日の各小学校○4月26日　南大分幼稚園と大道、中島、稙田、賀来の各小学校○4月27日　戸次、吉野の各小学校と判田公民館、鶴崎中央公民館○4月28日　大在、坂ノ市、東稙田の各小学校と竹中中学校

時間は各会場とも午後2時から3時半まで。（衛生課）

納税は有利な前納報償金制度

市県民税、固定資産税、都市計画税の納税者で、納税通知書に記入された納付額のうち、次期の来た税金を納める場合、次期以後の納期分の税金も同時に納めることができます。この場合前納する税額の百分の一にその納期前に係る月数を乗じて得た額の範囲内で前納報奨金が交付されます。くわしくは市納税課管理係にお問い合わせください。（納税課）

電話加入権を公売します

市税滞納処分により差押えた電話加入権を4月26日午前10時から、またコロンビア製電気ピアノを4月27日午前10時から納税課で、一般競争入札により公売します。希望者は入札にご参加ください。（納税課）

特別小口融資額が50万円までに

特別小口融資が、次のように改正され、融資最高限度額が三十万円から五十万円に引き上げられました。

なお融資を希望される方は市商工課または支所事業課に申し込んでください。

①融資限度額　一口50万円以内

②期間　一カ年以内

③返済方法　一括払いまたは割賦返済（商工課）

観光会員を募集

◎秋芳洞と青海島めぐり

期日　5月6日～7日

コース　大分駅前発午前8時～別府経由～下関～秋芳洞～湯本温泉～仙崎～折返し別府～大分着午後6時30分

会費　大人4千3百80円、小人4千10円

◎わらび狩リバス

期日　5月3日

コース　大分駅前発午前7時30分～別府水分峠経由～麻生釣高原（わらび狩り）～折返し大分着午後5時

会費　大人6百円、小人4百80円

申込先　いずれも大分交通観光社②5154（観光課）

県営住宅補欠入居者を募集

県営住宅の補欠入居者を募集しています。住宅の種別、名称、家賃、募集人員は別表のとおりです。申込資格は、現に住宅に困っている方で月収が、第1種住宅は2万円をこえ3万6千円以下、第2種住宅は2万円以下の方。申込みは4月17日から21日までに県土木部建築課に備えつけの用紙でお申込みください。

種別	名称	家賃	戸数
第1種	明野住宅	4,500円	50
第2種	明野住宅	3,250円 3,400円	50

（県建築課）

九電サービスモニター募集

九州電力では、ただいま営業所の「サービスモニター」を募集しています。「九州電力のサービスについて」をテーマにした4百字程の感想文に、住所、氏名、年令、職業をお書きの上、5月10日までに、大分市金池町一丁目、九州電力大分支店サービスモニター係にお申込みください。モニターになっていただいた方にはお礼をさしあげます。（九電大分支店）

43年歌会始めお題は「川」

昭和43年歌会始めのお題は「川」と定められました。1人1首限りとし、未発表の歌であること。詠進の用紙は、半紙白紙1枚を用い毛筆で自署します。9月1日から10月10日までの間に詠進、あて先は「東京中央郵便局区内宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。なお書式不備等の場合は失格となりますので詠進される方は特に注意してください。詠進要領についてご不明の点がありましたら、直接、宮内庁式部あてに住所、氏名を書き郵便切手を貼った返信用封筒を添えて照会されるか、市役所広報係までお問い合わせください。

明治庶民資料展にご出品を

明治百年記念

県民俗学会、市教育委員会、OBS共催の「明治百年記念・明治庶民資料展」が、4月25日から5月2日まで、中央町OBSサービス二階ホールで開催されます。

展示品は、民俗学会々員がもちよったもので、一般市民からも明治時代に使用した日用品や道具などの出品を歓迎しています。出品受付けは中央町のOBSサービス明治庶民資料展係で行なっています。同展は期間中入場無料で一般に公開されます。